(トップページ：http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/)
（五大石油会社の業績比較：http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html)
（石油：http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html)
マイライブラリー：0341

(注)本稿は 2015 年 5 月 9 日から 13 日まで 3 回に分けて「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.5.16
前田　高行

売上・利益が前年同期比大幅減少：五大国際石油企業2015年1－3月期決算速報

目次　頁

1．五社の1－3月期業績比較
(1) 売上高　2
(2) 売上高　2
(3) 売上高利益率　3
(4)原油・ガス生産量　4
(5)設備投資
2．五社の前年同期との業績比較
(1)ExxonMobil　4
(2)Shell　4
(3)BP　5
(4)Total　5
(5)Chevron　5

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の1－3月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益、売上高利益率、石油・天然ガス合計生産量及び設備投資の五項目について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の前年同期との増減を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。
ExxonMobil：
http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-49-billion-first-quarter-2015
Shell：
http://www.shell.com/global/aboutshell/investor/financial-information/quarterlyresults/archive/2015/q1-2015.html

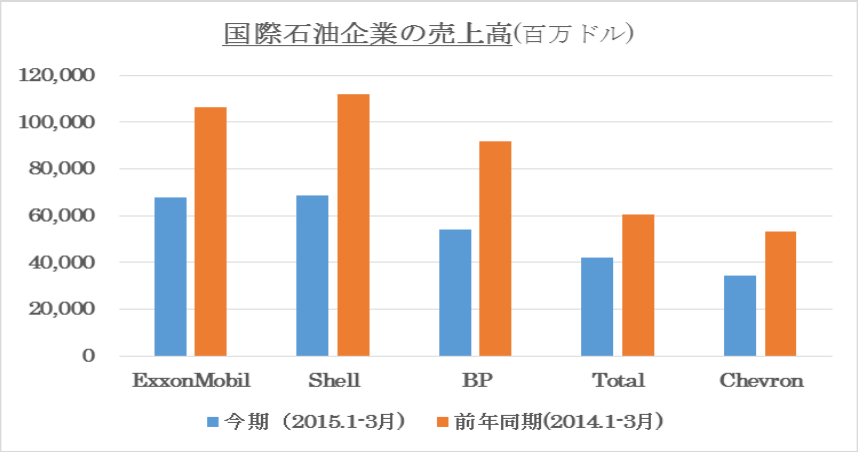
BP：
http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/first-quarter-2015-results.html
Total：http://www.total.com/en/media/news/press-releases/first-quarter-2015-results
Chevron：
http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/05012015_chevronreportsfirstquarternetincomeof26billion.news

なお2008年から2014年までの通年の業績比較はレポート「五大国際石油企業2014年度業績速報シリーズ」を参照されたい。
http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0337OilMajors2014.pdf

1. 五社の1－3月期業績比較（末尾表 1-D-4-22 参照）

五社を横並びで比較すると売上高では Shell がトップ、利益、生産量の2部門で ExxonMobil がトップである。また利益率および設備投資は Chevron がトップである。ExxonMobil は売上、利益率および設備投資額ではNo. 2であり安定した決算は横綱の貫禄がある。また Chevron は売上が五社中で最も少ないが利益、利益率等は他社とそん色がなく堅実性が光っている。これに対して BP は売上高こそ Shell、ExxonMobil に次いで3番目に多いものの、利益率が低く、石油・ガスの生産量および設備投資額が五社の中では最も少ないなど他の四社に比較してかなり見劣りのする決算業績となっている。

(1) 売上高



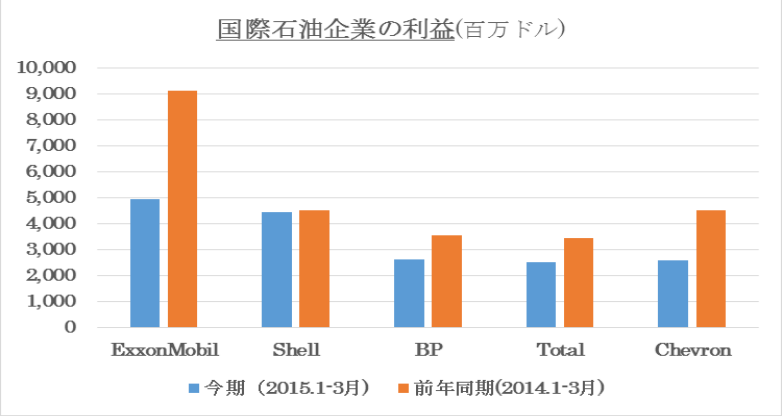
2015年1－3月の売上高は5社ともに前年同期に比べ3～4割の大幅な減少であった。これは言うまでもなく原油価格が暴落したためである。因みにShellでは昨年1-3月に97ドルであった原油の平均価格が今年1-3月は46ドルになったとしている。

この結果、Shell の売上高は688億ドル(前期比-39%)、ExxonMobil676億ドル(同-36%)、BP 542億ドル(同-41%)、Total 423億ドル(同-30%)、Chevron 346億ドル(同-35%)であった。

(2) 利益

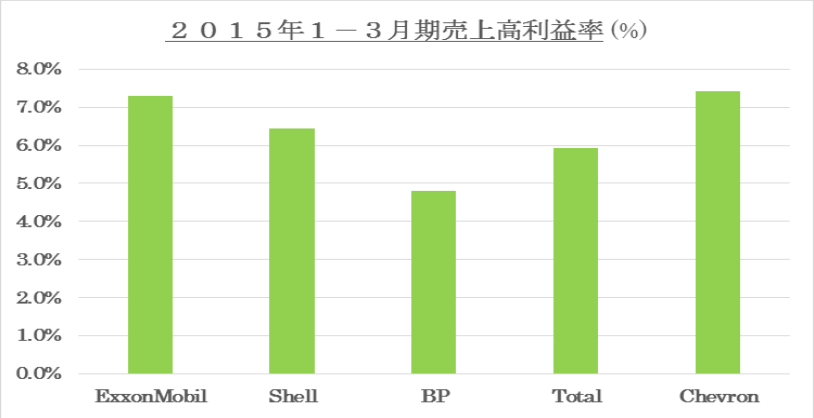
ExxonMobil の期間利益は49億ドル、前年同期の約2分の1であった。またChevronも前年同期の45億ドルから26億ドルにほぼ半減している。BPおよびTotalはともに前年同期比27%減のそれぞれ26億ドルおよび25億ドルと並んでいる。これに対してShellは2%減の44億ドルにとどまっ

ている。



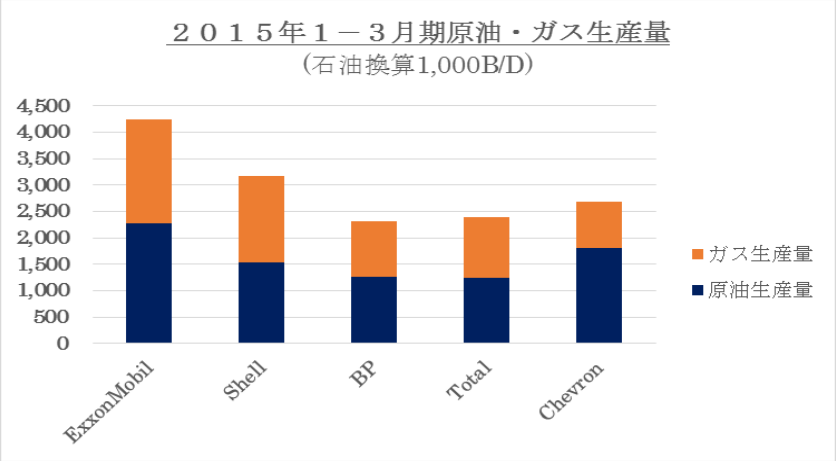
前期はExxonMobilが利益額で他の4社を大きく引き離していたが、今期はExxonMobilとShellが40億ドル台で並び、BP、Total、Chevronの3社が25億ドル前後で横並びとなっている。国際石油企業はいずれも利益の大半を上流部門で稼いでいるが、今期は原油価格が低迷したため利益も伸び悩んだようである。そのような中でShellが前年同期並みの利益を確保したことは、同社が上流部門の落ち込みを石油製品や石油化学製品あるいは天然ガスの販売でカバーしたものと考えられる。

(3) 売上高利益率



売上高利益率はChevronが7．4%と最も高く、これにExxonMobilが7．3%で続いている。その他3社はShellが6．4%、Total5．9%、BP4．8%であり、5社の間に際立った格差は見られない。

(4)原油・ガス生産量



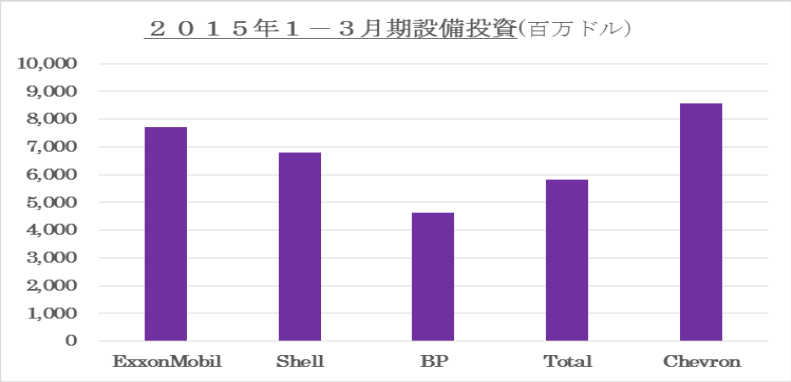
今年１－３月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量２２８万バレル(以下B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社はChevron １８０万 B/D、Shell １５４万B/D、BP １２６万 B/D、Total １２４万B/Dで、BPおよびTotalはExxonMobilの半分強にとどまっている。ExxonMobil は世界各地で万遍なく原油生産をおこなっており他者を圧倒している。米国内を地盤とするChevronはシェールオイルの増産でShell、BP等をしのぐ生産量を上げている。これに対し生産

拠点がアフリカなど一部地域に偏在している Total は生産量が5社の中で最も低い。

天然ガスの生産量も ExxonMobil が最も多く日産118億立方フィート(以下 cfd)であり、これに次ぐのが Shell の94億cfdである。残る3社は上位2社よりかなり少なく、Total63億cfd、BP61億cfd、Chevron53億cfdであり、Chevron は ExxonMobil の2分の1以下である。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量(B/D)では ExxonMobil は425万 B/D で Shell がこれに次いで317万 B/D である。Chevron、Total、BP の3社は200万 B/D 台であり、それぞれ268万 B/D、240万 B/D および231万 B/D であった。

(5) 設備投資



2015年1－3月期の各社の設備投資額は Chevron が最も多い86億ドルであり、ExxonMobil が77億ドルでこれに続いている。第3位の Shell の投資額は68億ドルである。また Total は58億ドル、BP は最も少ない46億ドルにとどまっている。

2. 五社の前年同期との業績比較 (末尾表 1-D-4-22 参照)

(1)ExxonMobil

ExxonMobil の2015年1－3月期の売上高は676億ドルであり、前年同期の1，063億ドルに比べ36%の減収であった。利益も同様に大幅に落ち込み前年同期を46%下回る49億ドルにとどまった。利益の落ち込み幅が売上よりも大きかったため、同社の売上高利益率は7．3%となり前年同期(8．6%)を下回った。

原油の生産量は前年同期を6%上回る228万 B/D であったが、天然ガスは前年同期を若干下回る日産118億立方フィート(以下 cfd)であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で425万 B/D となり、前年同期の415万 B/D を2．3%上回っている。また1－3月期の設備投資は77億ドルであり、前年同期の84億ドルに比べ8．7%減少している。

(2) Shell

Shell の2015年1－3月期の売上高は688億ドルであり、前年同期の1，120億ドルに比べ39%の減収であった。一方、利益は前年同期を2%下回る44億ドルを確保している。この結果同社の売上高利益率は前年同期(4．0%)を上回り6．4%であった。

原油の生産量は前年同期を4%上回る154万 B/D であったが、天然ガスは前年同期を8%下回る94億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で317万 B/D となり、前年同期の325万 B/D を2．4%下回っている。また1－3月期の設備投資は68億ドルであり、前年同期の

106億ドルに比べ大幅に減少している。

(3)BP

BP の2015年1－3月期の売上高は542億ドルであり、前年同期の917億ドルに比べ41%の大幅な減収であった。利益も同様に大きく落ち込み前年同期比26%減の26億ドルにとどまった。落ち込み幅が売上よりも利益の方が小さかったため、同社の売上高利益率は4．8%となり前年同期(3．8%)を上回っている。

原油の生産量は前年同期を16%上回る126万 B/D であったが、天然ガスは前年同期とほぼ同じ61億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で231万 B/D となり、前年同期の213万 B/D を8．3%上回っている。また1－3月期の設備投資は46億ドルであり、前年同期の59億ドルに比べ21%減少している。

(4) Total

Total の2015年1－3月期の売上高は423億ドルであり、前年同期の607億ドルに比べ30%の減収であった。利益もほぼ同様に落ち込み前年同期を27%下回る25億ドルにとどまった。この結果売上高利益率は5．9%となった。

原油の生産量は前年同期を20%上回る124万 B/D であったが、天然ガスは前年同期横ばいの63億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で240万 B/D となり、前年同期の218万 B/D を10%上回っている。また1－3月期の設備投資は58億ドルであり、前年同期の40億ドルに比べ45%増加している。

(5) Chevron

Chevron の2015年1－3月期の売上高は346億ドルであり、前年同期の533億ドルに比べ35%の減収であった。利益は売り上げ以上に落ち込み前年同期を43%下回る26億ドルにとどまった。この結果、同社の売上高利益率は7．4%となり前年同期(8．5%)を下回った。

原油の生産量は前年同期を5%上回る180万 B/D であったが、天然ガスは前年同期横ばいの53億 cfd であった。石油と天然ガスを合計した生産量は石油換算で268万 B/D となり、前年同期の259万 B/D を若干上回っている。また1－3月期の設備投資は86億ドルであり、前年同期の94億ドルに比べ9%減少している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田　高行　　〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

（作成：前田）

2015 年 1-3 月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2015 年 1-3 月	67,618	68,846	54,196	42,313	34,558
	前年同期	106,325	112,079	91,710	60,687	53,265
	増減(%)	−36.4%	−38.6%	−40.9%	−30.3%	−35.1%
利益(百万ドル)	2015 年 1-3 月	4,940	4,430	2,602	2,508	2,567
	前年同期	9,100	4,509	3,528	3,435	4,512
	増減(%)	−45.7%	−1.8%	−26.2%	−27.0%	−43.1%
売上高利益率(%)	2015 年 1-3 月	7.3%	6.4%	4.8%	5.9%	7.4%
	前年同期	8.6%	4.0%	3.8%	5.7%	8.5%
原油・ガス生産量（石油換算 1,000B/D）	2015 年 1-3 月	4,248	3,166	2,307	2,395	2,681
	前年同期	4,151	3,245	2,131	2,179	2,588
	増減(%)	2.3%	−2.4%	8.3%	9.9%	3.6%
設備投資(百万ドル)	2015 年 1-3 月	7,704	6,792	4,636	5,825	8,583
	前年同期	8,436	10,641	5,891	4,025	9,431
	増減(%)	−8.7%	−36.2%	−21.3%	44.7%	−9.0%